

【新会員紹介】

自分を愛することが
当たり前前の世界をめざして

代表 LEI WELINA
村上亜弥氏



今月の見どころ

4月支部例会は、「働く上での本当の喜びとは？」のテーマで、NPO 法人シネマ尾道 代表理事 河本 清順 氏に報告していただきました。「街の営みと映画館は共にあるべきもの」と語る河本さん。仕事するにあたり、お客様の心に刺さる人生の1ページになれるという事は、本当に仕事冥利に尽きると思います。時代が大きく移り変わる転換期である今、利潤だけではない『真の価値とは何か』を考えさせられる例会ではなかったでしょうか。小生も良い「仕事」とは何かを問い続けながら、またこの同友会を通して学び続けていきたいと思っています。

INDEX

P2.3……3月支部例会

P4………新会員紹介

P5………青年部会

P6………支部理事会報告

P7………行事案内、スケジュール

4 月支部例会

働く上での本当の喜びとは？

報告者

NPO 法人シネマ尾道 代表理事 河本 清順 氏

■日程：2025 年 4 月 15 日（火）18:45 ～ 20:45

■会場：シネマ尾道

かつて“映画の街”と呼ばれた尾道。だが 2001 年、最後の映画館「尾道松竹」が閉館し、街から映画館が消えました。そんな中、再び映画の灯をともしたのが、シネマ尾道支配人・河本清順さんでした。

河本さんは京都で服飾を学び、帰郷後は家業の焼肉店を手伝っていました。子どもの頃、祖父と通った映画館の記憶が忘れられず、「このまま尾道から映画館がなくなるのは寂しい」と一念発起。2004 年に仲間と「尾道に映画館をつくる会」を結成し、自主上映会を開始しました。

地域の共感を得て 2006 年には NPO 法人化。河本さんは全国のミニシアターを視察し、手作りで映画館の設計と運営を学んだそうで、寄付や助成金を集め、ついに 2008 年 10 月、旧映画館跡に「シネマ尾道」が開館しました。

シネマ尾道は、単なる映画館にとどまらず、地域の文化拠点として、子ども向け映画教室や地域イベントも開催。関わる 2025 尾道映画祭は過去最高の動員者数で、名だたる俳優の方々も来尾道され大成功に終わりました。

「街の営みと映画館は共にあるべきもの」と語る河本さん。例会準備の中で彼女と打ち合わせをしている際、「映画館で見るのと家でネットフリックスで見るのとどう違うの？」と聞いてみました。そこで躊躇せずに彼女は、「映画館は記憶なんよ」と答えられました。確かに!! 思い出ということなのでしょうが、我が記憶をたどってみると僕が初めて映画館に行ったのが、まさに現シネマ尾道である尾道松竹だったのです。そこで男女 2 人ずつで、初デート? で、ドラえもんを見たんだったなと記憶が鮮明に蘇ってきました。仕事するにあたり、お客様の心に刺さる人生の 1 ページになれるという事は、本当に仕事冥利に尽きると思います。

それでも「めっちゃめっちゃ儲かる仕事ではない」と語る河本さん。では何故これをやり続けられるのか? ココにこの先の仕事の在り方のヒントが隠されている気がします。

今時代が大きく移り変わる転換期であるといえます。そんな時に利潤だけではない『真の価値とは何か』を考えさせられる例会ではなかったのでしょうか。情熱と地域の力でよみがえったシネマ尾道は、今も尾道の人々の心のみならず全国の映画ファン、映画関係者の心の火を灯し続けています。小生も良い「仕事」とは何かを問い続けながら、またこの同友会を通して学び続けていきたいと思っています。

(有) いっとく 山根 浩揮



例会報告者への感想、フィードバック

4月支部例会の参加者は37名でした。そのうち、24名の方から回答をいただきました！ご協力、ありがとうございました。

- シネマの運営が聞けて良かった。文化を商売にという言葉と見えない価値という言葉がとても良かったです。
- 仕事を楽しんでる事が大切ですね
- 久しぶりに尾道シネマに来ることができて良かったです！お話を聞けて応援したいと思いました。
- 素晴らしいお話に感動しました
- 数字を露骨に聞きたかった
- ありがとうございました。想いの大切さがやりがいにつながると再認識しました。
- 分かりやすい報告でした。周りの人をが今の僕に刺さりました。
- 好きなことが仕事になり、尾道が元気になる取り組みにとても感動しました。
- シネマ尾道での例会で清順さんの赤裸々なご報告は感慨深かったです とても良かったです
- 河本さんの熱い想いが伝わりました。熱い想いを伝えること。継続の大切さ。義務感と使命感の違いを報告、討論で学びました。
- 素晴らしい報告だったと思います。使命感より義務感が強くなってしまいギクシャクしていた自分自身の大事な部分に気付くきっかけになりました、ありがとうございました。
- 映像に関わる人間として、とても興味深く、刺激的なお話でした。
- 河本さんの映画への思いが伝わる発表でした。利益追求ではなく地域に必要とされることを使命と思い頑張る姿は素晴らしいです。私は映画を観に行くことで応援したいと思いました。
- この仕事がとてもお好きなのが伝わりました。これからも尾道のためにこの映画館を残して欲しいです。
- 利益のためではなく、経営すること、続けることへの強い思いを改めて聞けて、とても大きな気づきになりました。
- 楽しんで仕事をするって羨ましいです。私も楽しんで仕事をしたいです。
- 映画市場とミニシアターの事情、清順さんの熱意がとても響きました。シネマ尾道に入ったことがなかったので、それも大変貴重な経験になりました。
質問：お仕事の話で恐縮ですが、スクリーン広告の詳細が知りたいのと、代理店契約出来るかが知りたいです。
- 本日の報告ありがとうございました。社会的に意義の大きい事をされ、とても想いの伝わる発表でした。7ルールとても気になります。清順さんのこだわりを色々聞いてみたいです。
- 清順さんの映画が好き!! 尾道が好き!! というまっすぐな想いが詰まった報告で感動しました。映画と配信動画では「記憶と体験の濃度が違う」という言葉に、便利な世の中ですがやはり生で体感することや人との繋がりを感ずることができました。ありがとうございます!!
- 働くとは、映画とは、そして、生きるとは。地域を支え、地域に支えられて。まるで映画を観たあのような気持ちであります。自分を見つめ直して、今日を明日を生きるぞと思いました。ありがとうございました。
- 便利になった世の中で、わざわざその場へ足を運ぶのは何故か、記憶に残る体験が出来るから、なるほどと思いました。楽しいから続けられる。厳しい環境の中でも事業を続ける想い。各人においてそれが使命感であったり責任感であったりもするが、想いも大切なモノと改めて感じました。
- 使命感と情熱が強く軽やかに聴かせていただきました。ありがとうございました。清順さんの目指すビジョンと街のビジョンが一致して
- はじめて清順さんの報告を聞きました。なぜ、尾道で儲からない映画館経営をしているのかとか、地域との繋がり、仕事で大切にしていることが聞けて良かったです。清順さんの思いが、人、地域、企業を巻き込んでいったんですね。これからも頑張って下さい。

自分を愛することが当たり前の世界をめざして

LEI WELINA 代表 村上 亜弥 氏



自己紹介をお願いします。

1990年3月産まれの35歳です。高須で幼児期を過ごし、小学生に上がるころ父が独立するのを機にご縁があった御調に引っ越ししました。

高校までは御調で過ごし、保育士を目指して尼崎の大学に進学しました。4年生の時に妊娠したこともあり、資格を取ることはできませんでしたが無事卒業し、卒業した4月に息子が産まれました。

大学卒業後は地元に戻り、結婚相手の家族と同居をしながら、父の会社でパートをしていたのですが、2人目の子どもが1歳になるころ離婚することになり、2人の子どもと3人で暮らすことになりました。

シングルになったことで、漠然と「私が頑張らないと！」と考え始め、会社でもパートから社員になり、目の前のことに一生懸命になっていたんですが、ふと「このままでいいのかな」と思うことがあり、将来について考えるようになりました。そんな時に手に取った書籍がきっかけで“マインドフルネス瞑想”に出会い、自身の心と体と環境を考えました。また、マインドフルネス瞑想を通して“クリスタルボウル”を知ることになり、きれいな音色に心惹かれていきました。はじめは音源で聞いていたのですが、生で聞いたときに「コレだ」と思い、最初は趣味として習い始めるようになりました。

趣味で習い始めましたが、「この音色を誰かに届けたい。クリスタルボウルを仕事にしよう。」と思うようになり、2024年3月にLEI WELINAを立ち上げました。

仕事内容を教えてください。

大きく3つに分かれています。1つはセルフトリート。1つはマインドフルネス瞑想。1つはクリスタルボウルです。セルフトリートやマインドフルネス瞑想は、子育てサロンなどでセルフケアについての講師をしたり、瞑想のインストラクターをしたりしています。オンラインで月1回の瞑想会も開いています。今一番力を入れているのがクリスタルボウルで、奏者としてお呼びいただいた所で演奏することもありますし、イベントを主催して演奏することもあります。最近はキャンプ場に毎月行かせていただいています。

仕事に対する思いを教えてください。

私が活動するにあたって、「自分を愛することが当たり前の世界を創造する」ということをコンセプトにしています。LEI WELINAのすべての活動がそこにつながっています。私も子育て世代の母という顔があります。子どもの自殺が年々増え続けていることや、若い世代に子どもを持ちたがらない人が増えていることが不思議で、なんでこんなことが起こっているのかを考えると、自分のことに目を向けている人が少ないということを感じています。自分が満たされていないのに他者のために頑張りすぎて疲弊してしまっている人が多いように思うこともあります。だからこそ自分のための時間を持つてほしいという思いがあります。セルフトリートも、マインドフルネス瞑想も、クリスタルボウルも、全部が「自分を愛することが当たり前の世界を創造する」につながっています。

将来の目標・夢はありますか。

瀬戸内でクリスタルボウルといえば“私”というようになりたいです。そのためにも、今は“知ってもらうこと”に力を入れています。クリスタルボウルの認知度はまだまだ低いですが、興味がある人には勿論、全く知らない人たちにこそ届けたいと強く思っています。こんな癒しがある。こんな世界がある。ということを是非知ってほしいです。プライベートな話だと、私の結婚が早かったのもありますが、孫の顔が見たいと思っています。旅行も好きなので、孫まで連れて、家族みんなで年に1回は旅行ができるといいなと思っています。

ありがとうございました。(文/高垣将一・写真/上田)



キャンプ場イベントで演奏している様子。

4月青年部会例会（総会&卒業式）

■とき：2025年4月12日（土） ■会場：尾道国際ホテル

【尾道支部 青年部会 第24回定時総会】

4月12日（土）尾道国際ホテルにて尾道支部 青年部会 第24回定時総会が執り行われました。会の中では清水部会長が前期の振り返りを行い、「新しい取り組みばかりで、負担をかけてしまったことと思いますが、常に協力体制を築いて頂き、ありがとうございました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。」と周りへの強い感謝を述べられました。

総括では「この1年を通して、仲間へ想いを伝え、それが拡がり実現するということを学びました。」と話をされておりましたが、自身の想いを開示すること、それが初めの第一歩であると、私も強く共感しました。

そして今期スローガンであります、『壁を突破せよ！～仲間と共に突き進め～』を体現させるために会員一同一致団結して、自身、自社の更なる学び、成長につなげていけるよう、そして清水部会長を“漢”にしていきたいと思ひます。

その後、同会場にて尾道支部青年部会 卒業式が開催されました。（有）大名 花本 隆資 先輩、（株）日章自動車 葛籠 雅明 先輩、（株）ハイマート 佐藤 敬祐 先輩の3名が卒業されました。お三方とも共通してお話されていたのは、今ある青年部活動は有限だということです。先輩方が与えてくださった風土を次は我々が紡いでいけるように、これからも感謝を忘れずに日々精進していきたいと思ひます。

この度は誠にめでとう御座いました。

（株）コアブリッジ 飛谷 暁儀



議長：岩田副支部長

■ 開会挨拶（山根副支部長）

※山根副支部長より、開会挨拶がありました。内容は省略します。

■ 確認・報告事項

※今後の支部例会の準備状況について報告しました。

※5月支部例会は、5/15（木）にグリーンヒルホテル尾道で開催します。テーマは「学びを即実践！同友会で共に未来を創ろう」です。報告者は、（株）アイ・エム・シー ユナイテッド 今津 正彦 氏です。経営指針の成文化から共同求人への挑戦など積極的に取り組まれ、紆余曲折を経て利益率の高い会社で成長されました。同友会での学びの目標になるような体験報告、そして広島同友会の今年度の方針をお話いただきます。

※6月支部例会は6/19（木）19時より、「経営者の自己変革」と題して開催します。報告は、あめかんむり 土井 卓 氏です。ご予約おさぐください。

※7月支部例会は7/17（木）19時より開催します。報告者、テーマ、会場につきましては、次月報告いたします。

■ 県理事会の報告（代 / 事務局）

※ 報告のポイントは以下。詳細は省略。詳しくは事務局にお尋ねください。
・4/21に開催されました。「総会議案（2024年度決算案、2025年度予算案）」について、報告＆討議・承認が行われました。提案説明の後、質疑応答が行われ、2024年度決算、2025年度予算案について承認がされました。

■ その他

※経営フォーラム 2025 の分科会は、各支部各委員会から立候補が多いこともあり、正副支部長と事態の方向で協議し、正式に辞退することになりました。

※保田事務局員から着任の挨拶がありました。

■ 討議事項

テーマ：中期ビジョン策定と推進に向けて その5

報告者：浮田総会議案検討委員長

【2025年度予算について】

基本的にペーパーレス化に取り組みます。慣れるまでは、支部例会、理事会等の資料は、予備程度に数部用意します。支部総会の活動計画の報告では、ペーパーレス化のことは必ず発言してください。支部例会予算に9月オープン例会予算（8万円）を表記しました。できれば1年かけてペーパーレス化の議論を行います。

【支部予備費について質問】

支部予備費について、「経費が増え続けていく中で、どう運営していくのか」質問がありました。2024年度の明細が説明され、緊縮財政を続けると自由な発想が出来なくなるため、あきらめず支部理事会に相談すること、支部でやりくりができないときは県財政部に相談することが確認されました。

収入を上げるには会員を増やすしかありません。支部例会費用は12カ月で割ると1カ月当たり平均3万円程度です。新年互礼会で実施したように、講演会などの参加費を設定して収入を増やすやり方もあります。

※予算について確認後、全体で読み合わせしました。

継続審議することになりました。

※総括案・方針案・決算案・予算案について、承認されました。

【まとめ】

①広報部でウェブについて検討、次回理事会で中身について説明と検討

②県総会への参加登録の声掛けをお願いいたします。

③環境経営全国交流会、新谷理事の応援へ行きましょう。

④入退会が承認されました。

⑤総会議案書（総括案・方針案・決算案・予算案）が承認されました。

■ 委員会・部会の報告

※各委員会・部会より報告がありました。

■ 増強の情報交換（正副・委員長・部会長）

※各委員会・部会より、入会候補者や退会希望者の情報を共有しました。

■ 承認事項

1. 入退会の承認（九十九組織総務委員長）

今年度目標会員数	現在会員数
130名 年度末まで	127名
【入退会のお知らせ】	
今月は入退会の希望はありませんでした。	

■ 閉会挨拶（高重経営労働委員長）

※内容は省略します。

■ 次回の理事会

6月4日（水）19:00～ 会場：工房おのみち帆布

尾道支部 2025 年 6 月 委員会・部会行事のご案内

組織総務委員会

- 日時:6月日()19時
- 会場:
- 内容:仲間づくりの進捗

広報委員会

- 日時:6月23日(月)
- 会場:
- 内容:でべらミーティング
合同勉強会について

経営労働委員会

- 日時:6月5日(木)
- 会場:サテライト会場および Zoom
- 内容:東部エリア経営基礎講座

求人社員教育委員会

- 日時:
- 会場:
- 内容:担当支部例会打合せ

政策環境委員会

- 日時:6月10日(火)
- 会場:
- 内容:第1回アンケートに向けての打合せ

青年部会

- 日時:6月26日(木)
- 会場:
- 内容:体験報告例会

女性部会

- 日時:6月12日(木)
- 会場:
- 内容:担当支部例会打合せ

支部理事会

- 日時:6月4日(水)19:00
- 会場:工房おのみち帆布

6 月支部例会

「良い経営環境をつくろう！」

- 日時:6月19日(木)
- 会場:市役所 2F 多目的スペース
- 報告者:あめかんむり 代表 土井卓氏

スケジュール

2025 年 6 月						2025 年 7 月											
4	5	10	12	19	23	26	1	2	3	8	17	22	24	28			
支部理事会	経営労働委員会	政策環境委員会	女性部会	支部例会	広報委員会	青年部会	政策環境委員会	支部理事会	経営労働委員会	求人社員教育委員会	支部例会	組織総務委員会	青年部会	広報委員会			

一般社団法人

広島県中小企業家同友会尾道支部 発行

事務局：〒720-0066 福山市三之丸 8-16 福山ニューキャッスルホテル B1F

T E L : 084-923-0286

F A X : 084-923-0284

e-mail : fukuyama@hiroshima.doyu.jp

【発行責任者】立石 良典

【広報委員長】高垣 将一



支部例会のチェックや
参加可否のご連絡は
e-doyuのスマホ版が便利！



QRコードから簡単ログイン！